

—環境と平和、そして美しい地球を守ろう—

みどりのコンサート33

信長貴富・宮本益光を迎えて

二部合唱のためのソング集

人よ、うたを思い出せ

作曲/信長貴富 作詩/栗原寛、覚和歌子、いずみ凜、宮本益光

第1ステージ

あいさつ◇アースデーひょうご代表

合唱◇神戸市役所センター合唱団

混声合唱とピアノのための

「いのちの木を植える」より「木を植える」、「しあわせ運べるように」「群青」「すこしずつ」

指揮/増田健一 ピアノ/阪田みゆき

合唱◇女声コーラスゆずり葉

指揮/町田百々子 ピアノ/阪田みゆき

小編成◇女声アンサンブルKIPLYU(キプリュ)

ピアノ/阪田みゆき

和太鼓◇太鼓衆団輪田鼓(わだつみ)



第2ステージ

独唱◇宮本益光

「貴種流離譚(祝婚歌)」「うたうたう」 ピアノ/阪田みゆき

合唱◇「朝の空気を吸い込んで」-被爆80年記念ソング-(宮本益光/詩 信長貴富/曲)

指揮/宮本益光 ピアノ/阪田みゆき

合唱/神戸市役所センター合唱団、みどりのコンサート合唱団、とんだばやし混声合唱団有志

記念トーク◇信長貴富・宮本益光 司会・進行/田中嘉治

合唱◇二部合唱のためのソング集『人よ、うたを思い出せ』

「かぎりない理由のためにうたう歌」「なぜ」「鳥は」「人よ、うたを思い出せ」

指揮/信長貴富 ピアノ/阪田みゆき

合唱/神戸市役所センター合唱団、みどりのコンサート合唱団、とんだばやし混声合唱団有志

※プログラムが一部変更になる場合があります。

2026年4月29日(祝・水)

開場 13:30

開演 14:00

長田区文化センターピフレホール

(JR「新長田駅」から南にすぐ)

料金 一般3,000円/大学生・高校生 2,000円/小・中学生・障がい者 1,500円(当日各々300円増/全席自由)

※未就学児の入場はご遠慮ください

主催/みどりのコンサート33実行委員会 協賛/アースデーひょうご

後援/神戸市・神戸市教育委員会・(公財)神戸市民文化振興財団・神戸新聞社・読売新聞神戸総局・

朝日新聞神戸総局・毎日新聞神戸支局・サンテレビジョン・兵庫県合唱連盟(順不同)

お問合せ/神戸市役所センター合唱団

〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 2-1-23 TEL078-672-1015 FAX078-672-1014

e-mail:kobe@center-choir.jp http://www.center-choir.jp/



— 環境と平和、そして美しい地球を守ろう

みどりのコンサート 33

二部合唱のためのソング集 『人よ、うたを思い出せ』

神戸市役所センター合唱団では環境団体の「アースデーひょうご」と共催で、毎年4月29日の旧みどりの日(現昭和の日)に「環境問題」を考える「みどりのコンサート」を開催し、2026年で33回目を迎えます。今回は、2023年神戸市役所センター合唱団創立60周年を記念して信長貴富さんに3作目となる委嘱作品をお願いし、初演した二部合唱のためのソング集『人よ、うたを思い出せ』を作曲者みずからの指揮で再演いたします。この作品は、人はなぜ歌うのかをテーマとして、わざわざ当合唱団のために作曲者自らが4人の著名な詩人の方々に書き下ろしていただけて作曲していただいたものです。第4章目の『人よ、うたを思い出せ』は、『人はそのうたを忘れ、嘘をつき、ミサイルの発射命令をくだし、地球の調べをかき乱す。人よ、うたを思い出せ。たった一つのうたを讃えよ。地球の調べに寄り添ってみないか』と私たちに問いかけてきます。

また、昨年被爆80周年を記念して、日本のうたごえ全国協議会が委嘱した「朝の空気を吸い込んで」(詩/宮本益光、曲/信長貴富)を作詩者でありバリトン歌手でもある宮本益光さんの指揮で演奏するほか宮本さんに独唱もしていただく贅沢な企画となっています。

世界では戦争の惨禍で尊い人命を奪われたお年寄りや、子どもたちなど無辜の民の犠牲者が日を追うごとに増大しています。

私たちは一日も早い停戦を祈るとともに、戦争の悲惨さと、人の命の大切さ、尊さを知るよすがとして本作品をより多くの人に聴いていただきたいと心から願うものです。どうぞ最後まで、ごゆっくりとお楽しみください。



信長貴富

1994年上智大学一文学部教育学科卒業。主な受賞歴:1994、95、99年朝日作曲賞(合唱曲)。1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位。2000年現音作曲新人賞入選(室内楽曲)。2001年日本音楽コンクール作曲部門(室内楽曲)第2位等を受賞。多数の合唱曲の他に、『信長貴富歌曲集』《こどものためのピアノ曲集 スタートダッシュ》、近年ではオーケストラや器楽アンサンブルを伴う合唱作品や、合唱のためのシアターピースも多く手がけている。主な作品に『新しい歌』、『マリimba協奏曲 混戦するドルフィン・ソナー』、『オペラ山と海猫』、『オペラ ルドルフとイッパイアッテナ』等がある。



宮本益光

声楽家、オペラ歌手、合唱指揮者、音楽学者、音楽教育者、詩人(作詞家)、翻訳家(訳詞家)、著作家、脚本家、オペラ演出家、舞台演出家、作曲家、7つの合唱団指導。学校法人桐朋学園大学・大学院教授。1972年9月、愛媛県八幡浜市大学卒業。同大学大学院修士課程、同大学院博士後期課程修了。国内外でソリストとして演奏活動、合唱指導。CD「おやすみ」「あしたのうた 加藤昌則歌曲集」「碧のイタリア歌曲」「うたうたう 信長貴富歌曲集」「コジ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」など多数発表している。



増田健一

大阪音楽大学短期大学部卒業。指揮法を齊田好男氏に師事。現在、須磨ニュータウン少年少女合唱団、女声合唱団オルテンシア指揮者、兵庫県合唱連盟副会長。兵庫県指揮者協会会員



太鼓楽団輪田鼓

1989年創立以来、神戸を拠点に日本各地に伝わる民俗伝統芸能を現代的なリズムも生かしてその芸能の“いのち”を伝えようとして取り組んでいる。これまで、和太鼓としての笛、尺八、津軽三味線等とのコラボで「ものがたり風」に公演を構成する太鼓ドラマを制作。『源平遥かなり』(07年)から『江戸城無血開城』(23年)まで20を超える作品を輪田鼓代表田中嘉治の作・構成で上演し好評を博している。



神戸市役所センター合唱団

1963年11月神戸市役所に勤める若者が中心となって創立。“平和で健康な音楽を多くの人々に広げる”ことを目的に掲げ、人々の願いや要求を音楽の源泉とした音楽演奏・教育・創作活動を展開している。84年の『悪魔の飽食』(原詩/森村誠一、編詩/池辺晋一郎・神戸市役所センター合唱団、作曲/池辺晋一郎)96年4月の阪神大震災鎮魂組曲『1995年1月17日』(同)の制作・初演をはじめ、これまで日本の音楽界を代表する三枝成彰氏、青島広志氏、新実徳英氏、木下牧子氏、信長貴富氏など多くの専門家に委嘱し21の新作を次々と発表するなど意欲的な活動を繰り広げている。96年神戸市文化活動功労賞受賞。01年関西合唱連盟・長井賞を受賞。07年「1・17メモリアル第1回合唱コンテスト」で最優秀の兵庫県知事賞受賞。08年神戸市職労社会貢献大賞「金賞」受賞(神戸市長・神戸市職労委員長連名)

女声アンサンブルKIPLYU(キプリユ)



2007年7月結成。神戸市内を中心に、東日本被災地でも演奏し、被災者たちに生きる勇気と感動をあたえその実力が賞賛された。

2017年～23年のコンクール

形式による「日本のうたごえ合唱発表会小編成の部」にて5年連続金賞受賞。一昨年創立15周年記念事業として9月に2ndランチコンサートを神戸酒心館ホールで12月にXmasコンサートを開催する。各種催し物やコンサートにも多数出演中。写真左からSop.池本富美子 Mezzo.北川久美子 Alt.東浦みちよ

神戸市役所センター合唱団・なかにしあかね委嘱作品初演 第48回演奏会 混声合唱組曲「水のたとえ」(全3曲)をうたう市民合唱団員募集!!

水のたとえ 詩/谷川俊太郎
水 詩/谷川俊太郎
水のころ 詩/高田敏子

公演概要

2026年10月18日(日)開場13時半 開演14時
神戸新聞松方ホール(JR 神戸駅から南に徒歩8分)
指揮/山本収 (神戸市役所センター合唱団常任指揮者)
ピアノ/阪田みゆき (神戸市役所センター合唱団常任ピアニスト)

練習ご案内

- 練習曲 混声合唱組曲「水のたとえ」(全3曲)
- 練習日時 2026年7月12日(日)15:30~17:30より
10月17日(土)まで計12回 土曜又は祝日・日曜
- 練習会場 神戸音楽センター会館 3F コーラスホール
(神戸市兵庫区芦原通2-1-23 右図参照)
- 練習体制 指揮/山本収・東浦みちよ ピアノ/阪田みゆき
- 参加費 月額団費/5,000円(4回で1ヶ月分)入団費/2,000円
12回分一括全納団費/12,000円 (楽譜代別)
- お申込み・お問合せ/神戸市役所センター合唱団
TEL078-672-1015 FAX078-672-1014 e-mail:kobe@center-1



▲神戸音楽センター会館